

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-319120

(43)Date of publication of application : 21.11.2000

(51)Int.Cl.

A61K 7/00  
A61K 7/075  
A61K 7/08  
A61K 7/16  
A61K 7/48  
A61K 7/50  
C11D 3/382  
C11D 3/48

(21)Application number : 11-128389

(71)Applicant : ICHIMARU PHARCOS CO LTD

(22)Date of filing : 10.05.1999

(72)Inventor : TOKI MASAKO  
KONDO MITSUKO  
MAEDA MUNENORI

(54) COSMETIC COMPOSITION INCLUDING VEGETABLE EXTRACT HAVING MOISTURE RETAINING PROPERTY

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a cosmetic, bath and detergent composition including a vegetable constituent having lasting moisture retaining property, take effects to prevention, decrease or improvement of drying, skin roughening, cracks on a skin, capped skin, scurf, pruritus or inflammatory disease to skin and hair such as drying, crumbling, split hair, broken hair, gloss imparting, etc.

SOLUTION: A cosmetic, bath and detergent composition including one or two or more kinds of vegetable extracts selected from Aguaje (*Mauritia flexuosa* L.f.), Achira (*Canna edulis* Ker Gawl.), Algarrobo (*Prosopis pallida*.), Huito (*Genipa americana* L.), Oca (*Oxalis tuberosa* Mol.), Olluco (*Ullucus tuberosus* Caldas.), Kanihua (*Chenopodium pallidicaule* Aellen.), Cupuazu (*Theobroma grandiflorum*.), Tarwi (*Lupinus mutabilis* Sweet.), Maca (*Lepidium meyenii* Walpers.), Mashua (*Tropaeolum tuberosum* Ruiz et Pav.), Molle (*Schinus molle* L.) and Yacon (*Polymnia sonchifolia* Poepp.et Endl.).

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

17.04.2006

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

**\*NOTICES \***

JPO and NCIP are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2.\*\*\* shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

---

**CLAIMS**

---

- [Claim(s)]
- [Claim 1] The cosmetics constituent containing one sort or two sorts or more of plant extracts chosen from AGUAHE, ACHIRA, ARUGAROBO, Whiet, OKA, OYUKO, KANIWA, KUPUASU, TARUWI, MAKU, MASHUA, MOJIE, and YAKON.
- [Claim 2] The baths constituent containing one sort or two sorts or more of plant extracts chosen from AGUAHE, ACHIRA, ARUGAROBO, Whiet, OKA, OYUKO, KANIWA, KUPUASU, TARUWI, MAKU, MASHUA, MOJIE, and YAKON.
- [Claim 3] The detergent constituent containing one sort or two sorts or more of plant extracts chosen from AGUAHE, ACHIRA, ARUGAROBO, Whiet, OKA, OYUKO, KANIWA, KUPUASU, TARUWI, MAKU, MASHUA, MOJIE, and YAKON.

---

[Translation done.]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-319120

(P2000-319120A)

(43) 公開日 平成12年11月21日 (2000. 11. 21)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マ-ト* (参考)
A 6 1 K 7/00		A 6 1 K 7/00	K 4 C 0 8 3 N 4 H 0 0 3
7/075		7/075	
7/08		7/08	
7/16		7/16	
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 21 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号	特願平11-128389	(71) 出願人	000119472 一丸ファルコス株式会社 岐阜県本巣郡真正町浅木318番地の1
(22) 出願日	平成11年5月10日 (1999. 5. 10)	(72) 発明者	土岐 正子 岐阜県岐阜市下大桑町24番地
		(72) 発明者	近藤 光子 岐阜県岐阜市長良雄総207番地
		(72) 発明者	前田 宗紀 岐阜県岐阜市黒野南4丁目105-1 ファ ルコスハウス2A
		最終頁に続く	

(54) 【発明の名称】 保湿性植物抽出物を含有する化粧料組成物

(57) 【要約】

【課題】 長時間保湿効果が継続する保湿性植物成分を含有し、皮膚に対しては乾燥、肌荒れ、ヒビ、アカギレ、フケ、カユミ、炎症性疾患の予防、軽減又は改善に、また毛髪に対しては、乾燥、バサツキ、枝毛、切れ毛、光沢付与等に奏効する化粧料、浴用剤、洗剤組成物を提供する。

【解決手段】 アグアヘ、アチラ、アルガローボ、ウィート、オカ、オユーコ、カニーワ、クブアス、タルウィ、マカ、マシユア、モジェ、ヤーコンの中から選ばれた1種又は2種以上の植物抽出物を含有する化粧料、浴用剤及び洗剤組成物とする。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 アグアヘ、アチラ、アルガローボ、ウィート、オカ、オユーコ、カニーワ、クブアス、タルウィ、マカ、マシュア、モジェ、ヤーコンの中から選ばれる1種又は2種以上の植物抽出物を含有する化粧品組成物。

【請求項2】 アグアヘ、アチラ、アルガローボ、ウィート、オカ、オユーコ、カニーワ、クブアス、タルウィ、マカ、マシュア、モジェ、ヤーコンの中から選ばれる1種又は2種以上の植物抽出物を含有する浴用剤組成物。

【請求項3】 アグアヘ、アチラ、アルガローボ、ウィート、オカ、オユーコ、カニーワ、クブアス、タルウィ、マカ、マシュア、モジェ、ヤーコンの中から選ばれる1種又は2種以上の植物抽出物を含有する洗剤組成物。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、化粧品、あるいは日用雑貨である浴用剤や洗剤組成物に関するものであって、保湿性植物抽出物を含有し皮膚や毛髪に対して潤いを与え、生き生きとした健全な皮膚または毛髪を維持、再生する上で有用な組成物を提供するものである。すなわち、皮膚に対して、乾燥、肌荒れ、ヒビ、アカギレ、フケ、カユミ、炎症性疾患等の予防、軽減又は改善に、又、毛髪に対しては、乾燥、バサツキ、枝毛、切れ毛、光沢付与等に有効な化粧品類、浴用剤、あるいは洗剤組成物に関する。

## 【0002】

【従来の技術】人の皮膚や毛髪は、健全な状態であるときは適度の保湿性を有し、通常は特別なケアを必要としないが、さまざまな環境要因（例えば、温度変化、湿度変化、光、水との接触等）や、洗剤等との接触、あるいは老化によって、しばしば変化・支障をきたすことがある。すなわち保湿機能が低下した皮膚や毛髪は、乾燥し、硬く、光沢や弾力性も失われ、カサカサとした状態となる。こうした乾燥皮膚は、近年、急増傾向にあるアトピー性皮膚炎との関連性も指摘されており、様々なスキントラブルを招く恐れがある。また毛髪にあっては光沢の消失、枝毛、切れ毛といったトラブルが発生する。さらにこれらが進展すると、シミ、シワ、脱毛等の深刻な状態を招くと考えられている。

【0003】従来より、皮膚や毛髪の乾燥を防ぐために化粧品等の外用剤にグリセリン、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、その他の多価アルコールをはじめ、油脂成分、アミノ酸、蛋白質、多糖類、ムコ多糖類等が利用されてきた。

【0004】これらに見られる目的は、皮膚や髪に塗布することで皮膜を作り、水分の蒸散を防いだり、天然保湿因子：NMF（Natural Moisturizing Factor）と言

われる角質層成分に近づけるべく工夫なされたものであった。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の保湿成分では、感触性、保湿効果の持続性、安全性、物理化学的安定性といった点において未だ満足されるものではなかった。特に、従来成分による保湿効果は一時的であり、肌荒れや枝毛の防止又は改善等、健全な皮膚または毛髪を維持、再生する意味で十分な外用組成物とは言い難いものであった。

【0006】本発明は、かかる課題を解決するものであって、長時間保湿効果が継続する保湿性植物成分を含有し、皮膚に対しては、乾燥、肌荒れ、ヒビ、アカギレ、フケ、カユミ、炎症性疾患等の予防、軽減又は改善に、又、毛髪に対しては、乾燥、バサツキ、枝毛、切れ毛、光沢付与等に奏効する化粧品又は浴用剤、あるいは肌荒れ、ヒビ、アカギレ等のスキントラブルが起りにくいように改良された洗剤組成物を提供する。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】本発明で使用する植物は次の通りで、何れも、葉、茎、根、花、種子あるいは全草を使用することができる。

【0008】（1）アグアヘ（Aguaje）*Mauritia flexuosa* L.f.（ヤシ科）、別名：ミリチーザイス、アグアハーレス、オオミテングヤシ（和）、*Miriti palm*（英）

（2）アチラ（Achira）*Canna edulis* Ker Gawl.（ダンドク（カンナ）科）、別名：ショクヨウカンナ（和）、*Queensland arrowroot*（英）

（3）アルガローボ（Algarrobo）*Prosopis pallida*（=*P. juliflora*（Sw.）DC.；*P. dulcis* Kunth）、別名：キャベ（和）、*Mesquite*（英）、アルガローバ

（4）ウィート（Huito）*Genipa americana* L.（アカネ科）、別名：チブサノキ（和）、*Genipa*, *Marmalade Box*（英）

（5）オカ（Oca）*Oxalis tuberosa* Mol.（カタバミ科）

（6）オユーコ（Olluco）*Ullucus tuberosus* Caldas（ツルムラサキ科）、別名：ウユーコ、*Ulluco*（英）

（7）カニーワ（Kanihua）*Chenopodium pallidicaule* Aellen.（アカザ科）

（8）クブアス（Cupuazu）*Theobroma grandiflorum*（G. Don）K. Schum.（アオギリ科）

（9）タルウィ（Tarwi）*Lupinus mutabilis* Sweet（マメ科）

（10）マカ（Maca）*Lepidium meyenii* Walpers（アブラナ科）、別名：Macamaca

（11）マシュア（Mashua）*Tropaeolum tuberosum* Ruiz et Pav.（ノウゼンハレン科）、別名：アニユ、クビオス、タマノウゼンハレン、キュウコンキンレンカ（和）、*Tuber nasturtium*（英）

(12) モジェ (Molle) *Schinus molle* L. (ウルシ科)、別名: モレ、アロエイラ、コショウボク(和)、Pep per tree(英)

(13) ヤーコン (Yacon) *Polymnia sonchifolia* Poe p.et Endl.(= *P.edulis* Weddell.) (キク科)、別名: Ya con strawberry(英)

【0009】これら植物から適当な溶媒を使用して有効成分を抽出する。溶媒は、水、エタノール、1,3-ブチレングリコール、プロピレングリコール、グリセリン、ポリエチレングリコール又はこれらの内より選択される任意の混液を使用することができる。抽出は、通常、植物を常温付近で1~7日間溶媒に浸漬することにより行い、抽出後は、濾過して必要に応じ、抽出液を希釈、又は濃縮、乾燥する。

【0010】保湿性植物抽出物を得るには、植物重量に対し、通常3~20倍、好ましくは5~10倍量程度の溶媒を使用するのがよい。また、抽出効率を上げるために加温抽出することも可能であるが、できるだけ変性させないで良質の成分を得るために常温付近で3~7日間程度浸漬抽出するのが望ましい。

【0011】本発明で使用する植物は、その何れからも目的効果の高い抽出物が得られる。したがって各々から個別に抽出しても、任意に植物を組み合わせで抽出しても良い。また、各抽出物又は抽出液を混合して使用しても良い。尚、複数の植物抽出物の組み合わせにより保湿効果の持続性がより向上したり、肌荒れやフケ症、カユミに対する改善効果がさらに良好となる結果も得られることから、2種以上の植物抽出物を組み合わせて使用することに十分意義はあるものと考えられる。

【0012】本発明による化粧料組成物、浴用剤組成物及び洗剤組成物は、本発明の必須の保湿性植物抽出物の他に、例えば、下記に記すような化粧品類などで通常使用される基剤、添加剤等を併用して製造することができる。

#### 【0013】(1)各種油脂類

アボガド油、アーモンド油、ウイキョウ油、エゴマ油、オリーブ油、オレンジ油、オレンジラファール油、ゴマ油、カカオ脂、カミツレ油、カロット油、キューカンバー油、牛脂脂肪酸、ククイナツツ油、サフラワー油、シア脂、大豆油、ツバキ油、トウモロコシ油、ナタネ油、パーシク油、ヒマシ油、綿実油、落花生油、タートル油、ミンク油、卵黄油、バーム油、バーム核油、モクロウ、ヤシ油、牛脂、豚脂又はこれら油脂類の水素添加物(硬化油等)など。

#### 【0014】(2)ロウ類

ミツロウ、カルナバロウ、鯨ロウ、ラノリン、液状ラノリン、還元ラノリン、硬質ラノリン、カンデリラロウ、モンタンロウ、セラックロウ、ライスワックス、スクワレン、スクワラン、プリスタンなど。

#### 【0015】(3)鉱物油

流動パラフィン、ワセリン、パラフィン、オゾケライド、セレシン、マイクロクリスタンワックスなど。

#### 【0016】(4)脂肪酸類

ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、ベヘン酸、オレイン酸、12-ヒドロキシステアリン酸、ウンデシレン酸、トール油、ラノリン脂肪酸などの天然脂肪酸、イソノナン酸、カブロン酸、2-エチルブタン酸、イソペンタン酸、2-メチルペンタン酸、2-エチルヘキサン酸、イソペンタン酸などの合成脂肪酸。

#### 10 【0017】(5)アルコール類

エタノール、イソピロパノール、ラウリルアルコール、セタノール、ステアリルアルコール、オレイルアルコール、ラノリンアルコール、コレステロール、フィトステロールなどの天然アルコール、2-ヘキシルデカノール、イソステアリルアルコール、2-オクチルドデカノールなどの合成アルコール。

#### 【0018】(6)多価アルコール類

酸化エチレン、エチレングリコール、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、エチレングリコールモノエチルエーテル、エチレングリコールモノブチルエーテル、ジエチレングリコールモノメチルエーテル、ジエチレングリコールモノエチルエーテル、ポリエチレングリコール、酸化プロピレン、プロピレングリコール、ポリプロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、グリセリン、ペンタエリトリトール、ソルビトール、マンニトールなど。

#### 【0019】(7)エステル類

ミリスチン酸イソプロピル、パルミチン酸イソプロピル、ステアリン酸ブチル、ラウリン酸ヘキシル、ミリスチン酸ミリスチル、オレイン酸オレイル、オレイン酸デシル、ミリスチン酸オクチルドデシル、ジメチルオクタン酸ヘキシルデシル、乳酸セチル、乳酸ミリスチル、フタル酸ジエチル、フタル酸ジブチル、酢酸ラノリン、モノステアリン酸エチレングリコール、モノステアリン酸プロピレングリコール、ジオレイン酸プロピレングリコールなど。

#### 【0020】(8)金属セッケン類

ステアリン酸アルミニウム、ステアリン酸マグネシウム、ステアリン酸亜鉛、ステアリン酸カルシウム、パルミチン酸亜鉛、ミリスチン酸マグネシウム、ラウリン酸亜鉛、ウンデシレン酸亜鉛など。

#### 【0021】(9)ガム質、糖類又は水溶性高分子化合物

アラビアゴム、ベンゾインゴム、ダンマルゴム、グアヤク脂、アイルランド苔、カラヤゴム、トラガントゴム、キャロブゴム、クインシード、寒天、カゼイン、乳糖、果糖、ショ糖又はそのエステル、トレハロース又はその誘導体、デキストリン、ゼラチン、ペクチン、デンプン、カラギーナン、カルボキシメチルキチン又はキトサン、エチレンオキサイドなどのアルキレン(C2~C4)オキサイドが付加されたヒドロキシアルキル(C2~C

4)キチン又はキトサン、低分子キチン又はキトサン、キトサン塩、硫酸化キチン又はキトサン、リン酸化キチン又はキトサン、アルギン酸又はその塩、ヒアルロン酸又はその塩、コンドロイチン硫酸又はその塩、ヘパリン、エチルセルロース、メチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、カルボキシエチルセルロース、カルボキシエチルセルロースナトリウム、ヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ニトロセルロース、結晶セルロース、ポリビニルアルコール、ポリビニルメチルエーテル、ポリビニルピロリドン、ポリビニルメタアクリレート、ポリアクリル酸塩、ポリエチレンオキサイドやポリプロピレンオキサイドなどのポリアルキレンオキサイド又はその架橋重合体、カルボキシビニルポリマー、ポリエチレンイミンなど。

#### 【0022】(10)界面活性剤

アニオン界面活性剤（アルキルカルボン酸塩、アルキルスルホン酸塩、アルキル硫酸エステル塩、アルキルリン酸エステル塩）、カチオン界面活性剤（アルキルアミン塩、アルキル四級アンモニウム塩）、両性界面活性剤：カルボン酸型両性界面活性剤（アミノ型、ベタイン型）、硫酸エステル型両性界面活性剤、スルホン酸型両性界面活性剤、リン酸エステル型両性界面活性剤、非イオン界面活性剤（エーテル型非イオン界面活性剤、エーテルエステル型非イオン界面活性剤、エステル型非イオン界面活性剤、ブロックポリマー型非イオン界面活性剤、含窒素型非イオン界面活性剤）、その他の界面活性剤（天然界面活性剤、タンパク質加水分解物の誘導体、高分子界面活性剤、チタン・ケイ素を含む界面活性剤、フッ化炭素系界面活性剤）など。

#### 【0023】(11)各種ビタミン類

ビタミンA群：レチノール、レチナール（ビタミンA1）、デヒドロレチナール（ビタミンA2）、カロチン、リコピン（プロビタミンA）、ビタミンB群：チアミン塩酸塩、チアミン硫酸塩（ビタミンB1）、リボフラビン（ビタミンB2）、ピリドキシン（ビタミンB6）、シアノコバラミン（ビタミンB12）、葉酸類、ニコチン酸類、パントテン酸類、ビオチン類、コリン、イノシトール類、ビタミンC群：ビタミンC酸又はその誘導体、ビタミンD群：エルゴカルシフェロール（ビタミンD2）、コレカルシフェロール（ビタミンD3）、ジヒドロタキステロール、ビタミンE群：ビタミンE又はその誘導体、ユビキノール類、ビタミンK群：フィトナジオン（ビタミンK1）、メナキノール（ビタミンK2）、メナジオン（ビタミンK3）、メナジオール（ビタミンK4）、その他、必須脂肪酸（ビタミンF）、カルニチン、フェルラ酸、γ-オリザノール、オロチン酸、ビタミンP類（ルチン、エリオシトリン、ヘスペリジン）、ビタミンUなど。

#### 【0024】(12)各種アミノ酸類

バリン、ロイシン、イソロイシン、トレオニン、メチオ

ニン、フェニルアラニン、トリプトファン、リジン、グリシン、アラニン、アスパラギン、グルタミン、セリン、システイン、シスチン、チロシン、プロリン、ヒドロキシプロリン、アスパラギン酸、グルタミン酸、ヒドロキシリジン、アルギニン、オルニチン、ヒスチジンなどや、それらの硫酸塩、リン酸塩、硝酸塩、クエン酸塩、或いはピロリドンカルボン酸のごときアミノ酸誘導体など。

【0025】(13)植物又は動物系原料由来の種々の添加物

これらは、添加しようとする製品種別、形態に応じて常法的に行われる加工（例えば、粉碎、製粉、洗浄、加水分解、醗酵、精製、圧搾、抽出、分画、ろ過、乾燥、粉末化、造粒、溶解、滅菌、pH調整、脱臭、脱色などを任意に選択、組合わせた処理）を行い、各種の素材から任意に選択して供すれば良い。

【0026】尚、抽出に用いる溶媒については、供する製品の使用目的、種類、或いは後に行う加工処理等を考慮した上で選択すれば良いが、通常では、水、水溶性有機溶媒（例えば、エタノール、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコールなど）の中から選ばれる1種もしくは2種以上の混液を用いるのが望ましい。但し、用途により有機溶媒の含有が好ましくない場合においては、水のみを使用したり、あるいは抽出後に除去しやすいエタノールを採用し、単独又は水との任意の混液で用いたりすれば良く、又、搾取抽出したものでも良い。

【0027】尚、植物又は動物系原料由来の添加物を、全身用又は局所用の外用剤、化粧品類に供する場合、皮膚や頭髮の保護をはじめ、保湿、感触・風合いの改善、柔軟性の付与、刺激の緩和、芳香によるストレスの緩和、細胞賦活（細胞老化防止）、炎症の抑制、肌質・髪質の改善、肌荒れ防止及びその改善、発毛、育毛、脱毛防止、光沢の付与、清浄効果、疲労の緩和、血流促進、温浴効果などの美容的效果のほか、香付け、消臭、増粘、防腐、緩衝などの効果も期待できる。

【0028】原料とする具体的な植物（生薬）としては、例えば、アーモンド（へん桃）、アイ（藍葉）、アオカズラ（清風藤）、アオキ（青木）、アオギリ又はケナシアオギリ（梧桐）、アオツツラフジ（木防已）、アカシア、アカショウマ（赤升麻）、アカスグリ「果実」、アカブドウ、アカミノキ（ログウッド）、アカメガシワ（赤芽柏）、アカネ（茜草根）、アカヤジオウ又はジオウ（地黄）、アギ（阿魏）、アキニレ（榔榆皮）、アケビ（木通）、アサ（麻子仁）、マルバアサガオ又はアサガオ（牽牛子）、アジサイ（紫陽花）、アシタバ（明日葉）、アマナ（光慈姑）、アズキ（赤小豆）、アセロラ、アセンヤク（阿仙薬）、アニス、アベマキ「果実」、アボカド、アマ、アマチャ（甘茶）、アマチャヅル、アマドコロ（玉竹）、アマランサス（ヒユ）、ハゲイトウ、ヒモゲイトウ、センニンコク、スギモリゲイトウ、ホソアオゲイトウ、アオゲイトウ、ハリビユ、

アマラントウス・ヒポコンドリアクス)、アミガサユリ  
 又はバイモ(貝母)、アルテア、アルニカ、アルビニア又  
 はカツマダイ(ソウズク)、アロエ(蘆薈)、アロエベラ、  
 アンジェリカ、アンズ又はホンアンズ(杏仁)、アンソッ  
 コウ(安息香)、イガコウゾリナ(地胆頭)、イカリソウ又  
 はヤチマタイカリソウ(インヨウカク)、イグサ(灯心  
 草)、イタドリ(虎杖根)、イチイ(一位)、イチゴ、イチ  
 ジク(無花果「果実、葉」)、イチハツ(一初)、イチビ  
 (冬葵子)、イチヤクソウ(一葉草)、イチョウ(銀杏「種  
 子、葉」)、イトヒメハギ(遠志)、イナゴマメ、イヌナ  
 ズナ(テイレキシ)、イヌビユ(ホナガイヌビユ)、イネ  
 「種子、種皮」、イノンド「種子」、イブキジャコウソ  
 ウ、イラクサ、イランイラン、イワタバコ(岩高苳)、イ  
 ワヒバ又はイワマツ(巻柏)、ウーロン茶、ウイキョウ  
 (茴香)、ウキヤガラ(三稜)、ウグイスカグラ「果実」、  
 ヒメウイキョウ、ウコン(鬱金)、ウキクサ(浮萍)、ウス  
 バサイシン又はケイリンサイシン又はオウシュウサイシ  
 ン(細辛)、ウスベニアオイ、ウスベニタチアオイ、ウツ  
 ボグサ(夏枯草)、ウド又はシシウド(羌活、独活、唐独  
 活)、ウバ茶、ウメ(烏梅「種子、果肉」)、ウラジロガ  
 シ、ウワウルシ(クサコケモモ)、ウンシュウミカン(陳  
 皮)、エストラゴン、エゾウコギ(蝦夷五加)、エチナシ  
 (ホソバムラサキバレンギク)、エニシダ、エノキタケ  
 (榎茸)、エビスグサ又はカシミア・トーラ(決明子)、エ  
 ルダーベリー「果実」、エレミ、エリンギ又はブレロ  
 ータスエリンジ、エンジュ(槐花、槐花米)、オウギ又は  
 キバナオウギ(黄耆)、オウレン(黃連)、オオカラスウリ  
 (カロコン)、オオグルマ(土木香)、オオツヅラフジ(防  
 己)、オオバコ(車前子、車前草)、オオハシバミ(榛  
 子)、オオバナオケラ又はオケラ(白朮)、オオバナサル  
 スベリ(バナバ)、オオバヤシャブシ「果実」、オオミ  
 サンザシ又はサンザシ(山査子)、オウセイ(ナルコユ  
 リ、カギクルマバナルコユリ)、オウヒササノユキ又は  
 ササノユキ、オオムギ(大麦)、オオホシグサ(穀精草)、  
 オカゼリ(蛇床子)、オグルマ(旋覆)、オクラ「果実」、  
 オタネニンジン又はトチバニンジン(人參)、オトギリ  
 ソウ又はコゴメバオトギリソウ又はセイヨウオトギリソ  
 ウ(弟切草)、オドリコソウ(続断)、オナモミ(蒼耳子)、  
 オニグルミ、オニドコロ又はトコロ又はナガドコロ(ヒ  
 カイ)、オニノヤガラ(天麻)、オニユリ又はササユリ又  
 はハカタユリ(百合)、オノニス、オヒョウ(裂葉榆)、オ  
 ミナエシ(敗醬)、オランダカラシ(クレソン)、オランダ  
 ゼリ、オランダミツバ、オリーブ「果実、種子、葉」、  
 オレガノ、オレンジ「果実、果皮」、カイケイジオウ  
 (熟地黄)、カカオ「果実、果皮、種子」、カキ(柿蒂  
 「葉」)、カギカズラ(釣藤鈎)、カキドオシ又はカント  
 リソウ(蓮銭草)、カシア、カキノキ(楮実「果実」)、ガ  
 ジュツ(莪朮)、カシワ(榲桲、榲桲葉)、カスカリラ、カス  
 カラサグラダ、カニクサ(金沙藤)、カノコソウ(吉草  
 根)、カバノキ又はシダレカンバ(白樺)、カボチャ、カ

ボックノキ「種子」、カホクサンショウ(蜀椒)、ガマ  
 (蒲黄)、カミツレ又はローマカミツレ、カミヤツデ(通  
 草)、カムカム(カモカモ)、カラスウリ又はシナカラス  
 ウリ(王瓜)、カラスビシャク(半夏)、カラスムギ、ガラ  
 ナ「種子」、カラホオ(厚朴)、カラヤ、カリン(木瓜)、  
 ガルシニア、カワミドリ、カワラサイコ(委陵菜、翻白  
 草)、カワヂシャ、カワラタケ、カワラナデシコ(石竹)  
 又はエゾカワラナデシコ(瞿麦、瞿麦子)、カワラニンジ  
 ン(青蒿)、カワラヨモギ(茵陈蒿)、カンスイ(甘遂)、  
 10 カンゾウ(甘草)、カンタラアサ、カンドリラ、カント  
 ウ、カンナ、キイチゴ(エゾイチゴ、オランダイチゴ、  
 エビガライチゴ、ナワシロイチゴ、モミジイチゴ、ヨー  
 ロッパイチゴ)、キウイ「果実、葉」、キカラスウリ  
 (瓜呂根)、キキョウ(桔梗、桔梗根)、キク(菊花、シマ  
 カンギク、チョウセンノギク)、キササゲ(梓実)、ギシ  
 ギシ(羊蹄根)、キジツ(枳实)、キズタ、キダチアロエ、  
 キダチハッカ、キナ、キナノキ(シンコーナ、アカキナ  
 ノキ)、キハダ(黄柏)、ギムネマ・シルベスタ、キャベ  
 ツ、キャベツ「未熟果」、キュウリ、ギョリュウ(西河  
 20 柳、てい柳)、キラジャ・サボナリア、キラヤ、キラン  
 ソウ(金瘡小草)、キンカン「果実」、キンマ、キンミズ  
 ヒキ(仙鶴草)、グアバ「果実」、グアユーレ、クエルク  
 ス・インフェクトリア(没食子)、ククイナツツ、クコ  
 (枸杞、枸杞子、枸杞葉、地骨皮)、クサスギカズラ(天  
 門冬)、クズ(葛根)、クスノキ、グースベリー「果  
 実」、クソニンジン(黄花蒿)、クチナシ(山梔子)、クヌ  
 ギ(樸ソウ)、クマザサ、クマツヅラ(馬鞭草)、クララ  
 (苦参)、クランベリー「果実」、クリ「種子、果実、渋  
 皮」、クルクリゴ・ラチフォリア「果実」、グレープフ  
 30 ルーツ「果実・葉」、クロウメモドキ、クロガネモチ  
 (救必応)、クロバナヒキオコシ又はヒキオコシ(延命  
 草、延命皮)、クローブ(丁子、丁香)、グンバイナズナ  
 (セキメイ、セキメイシ)、ケイガイ(荊芥、荊芥穗)、ケ  
 イトウ(鶏冠花、鶏冠子)、ゲッケイジュ(月桂樹)、ケナ  
 シサルトリイバラ(土茯苓、山帰来)、ゲンチアナ、ゲン  
 ノショウコ(老鸛草)、ケンボナシ(キグシ)、コウキセツ  
 コク、キシウミカン(コウジ、タチバナ、オオベニミ  
 40 カン、フクレミカン、サガミコウジ、ボンカン、サンタ  
 ラ(橘皮))、コウシンバラ(月季花)、コウスイハッカ、  
 コウゾ「果実」、コウチャ(紅茶)、コウホネ(川骨)、コ  
 ウホン(藁本、唐藁本)、コウリヤン、コウリョウキョウ  
 (高良姜)、コエンドロ「果実」、コオウレン(胡黄連)、  
 コガネバナ(黄ゴシ)、コケモモ(越橘)、ココヤシ「果  
 実」、ゴシユ(呉茱萸)、ゴシヨイチゴ(覆盆子)、コシ  
 ヨウ(胡椒)、コバイバルサム、コーヒー「種子、  
 葉」、コブシ又はモクレン(辛夷)、ゴボウ(牛蒡、牛蒡  
 子)、コボタンヅル、ゴマ(胡麻)、ゴマノハグサ(玄  
 参)、ゴミシ(五味子)、サネカズラ又はビナンカズラ又  
 はマツブサ、コムギ(小麦)、米又は米糠「赤糠、白  
 50 糠」、コメ油、コーラ・アクミナタ「種子」、コーラ・

ベラ「種子」、コロハ「果実」、コロンボ、コンズラン  
 ゴ、コンブ、コンニャク、コンフリー(鰯張草)、サイザ  
 ル(サイザルアサ)、サキシマボタンヅル又はシナボタン  
 ズル又はシナセンニンソウ(威霊仙)、サクラ(オオシマ  
 ザクラ、ヤマザクラ、オオヤマザクラ、エドヒガシ、マ  
 メザクラ、ミヤマザクラ、ソメイヨシノ、タカネザク  
 ラ、カスミザクラ、チョウジザクラ、コヒガン、サトザ  
 クラ、カンザクラ「葉、花、果実、樹皮(桜皮)」)、サ  
 クランボ、ザクロ、ササ、サザンカ、サジオモダカ(沢  
 瀉)、サツマイモ、サトウキビ、サトウダイコン、サネ  
 ブトナツメ(酸漿仁)、サフラン(番紅花、西紅花)、ザボ  
 ン「果実」、サボンソウ、サーモンベリー「果実」、サ  
 ラシナショウマ(升麻)、サルビア(セージ)、サワギキョ  
 ウ(山梗菜)、サワグルミ(山胡桃)、サンシクヨウソウ、  
 サンシチニンジン(三七人參)、サンシュユ(山茱萸)、サ  
 ンショウ(山椒)、サンズコン(山豆根)、シア(カリテ)、  
 シアノキ「果実」、シイタケ(椎茸)、シオン(紫苑)、ジ  
 キタリス、シクンシ(使君子)、シソ又はアオジソ又はチ  
 リメンジソ又はカタメンジソ(紫蘇葉、紫蘇子)、シタ  
 ン、シナノキ、シナホオノキ、シナレンギョウ(連翹)、  
 シメジ(ヒンシメジ、シャカシメジ、ハタケシメジ、オ  
 シロイシメジ、ブナシメジ、ホンジメシ、シロタモギタ  
 ケ)、シモツケソウ、ジャガイモ、シャクヤク(芍薬)、  
 シャジン(沙参)、ジャスミン(マツリカ)、ジャノヒゲ  
 (麦門冬)、シュクシャミツ(砂仁、縮砂)、ジュズダマ、  
 シュロ「果実」、ショウガ(生姜)、ジョウザンアジサイ  
 (常山)、ショウブ(菖蒲、菖蒲根)、ショズク「果実」、  
 シラカシ「種子」、シロゴチョウ「種子」、シロトウア  
 ズキ(鶏骨草)、シロバナイリス(ニオイイリス)、シロバ  
 ナツタ「花」、シロミナンテン(南天実)、シンコナサク  
 シルブラ、ジンチョウゲ(瑞香、瑞香花、沈丁花)、シン  
 ナモン、スイカ(西瓜)、スイカズラ(金銀花、忍冬)、ス  
 イバ(酸模)、スイムベリー「果実」、ステビア、ストロ  
 ベリー「果実」、スズサイコ(徐長卿)、スギナ(間荆)、  
 スベリヒユ(馬齒けん、馬齒けん子)、スモモ「果実」、  
 セイヨウアカマツ「球果」、セイヨウカラマツ、セイヨ  
 ウキズタ、セイヨウグルミ、セイヨウサンザシ、セイヨ  
 ウタンボボ、セイヨウトチノキ(マロニエ)、セイヨウナ  
 シ「果実」、セイヨウナツユキソウ、セイヨウニワトコ  
 (エルダー)、セイヨウネズ(ジュニパー、杜松)、セイヨ  
 ウノコギリソウ(ミルフォイル)、セイヨウバラ、セイヨ  
 ウフウチョウボク、セイヨウヤドリギ、セイヨウハッカ  
 又はセイヨウヤマハッカ、セイヨウワサビ、セキショウ  
 (石菖根)、セッコク(石斛)、ゼニアオイ、ヒロハセネ  
 ガ、セネガ、セリ、セロリ、センキュウ(川キュウ)、セ  
 ンシンレン(穿心連)、センダン、センブリ(当薬)、セン  
 ナ「果実、葉」、センニンソウ(大蓼)、ソウカ(草果)、  
 ソバ「種実」、ソメモノイモ、ダイオウ(大黃)、大根、  
 大豆、ダイダイ(橙皮、枳実)、タカサブロウ(旱蓮草)、  
 タカトウダイ(大戟)、タカワラビ(狗脊)、ダークスィー

トチェリー「果実」、タチアオイ、タチジャコウソウ  
 (タイム、百里香)、タチドコロ(ヒカイ)、タチヤナギ、  
 タマリンド「種子」、タマネギ、タムシバ(辛夷)、タラ  
 ノキ「果実、葉、根皮」、タンジン(丹参)、タンボボ  
 (蒲公英)又はシロバナタンボボ又はモウコタンボボ、ダ  
 ンマル、チェリー「果実」、チガヤ「果実、根、芽」、  
 チクセツニンジン(竹節人參)、チコリ、チョウセンダイ  
 オウ(大黃)、チョウセンニレ(蕪夷)、チョウセンニンジ  
 ン(人參)、チョウセンヨモギ(艾葉)、チョレイマイタケ  
 (猪苓)、ツキミソウ、ツクリタケ(マッシュルーム)、ツ  
 バキ、ツボクサ、ツメクサ(漆姑草)、ツユクサ(鴨跖  
 草)、ツルアズキ(赤小豆)、ツルドクダミ(何首烏)、ツ  
 ルナ(蕃杏)、ツルニンジン(四葉参)、ツワブキ、デイ  
 コ、テウチグルミ、デュベリー「果実」、テングサ、テ  
 ンチャ(甜茶)、テンダイウヤク(烏藥)、トウガ(冬瓜  
 子)、トウカギカズラ、トウガラシ(番椒)、トウキ(当  
 歸)、トウキンセンカ(マリーゴールド)、トウナベナ(川  
 断)、トウモロコシ又はトウモロコシ毛(南蛮毛)、トウ  
 ネズミモチ(女貞子)、トウリンドウ又はチョウセンリン  
 ドウ(竜胆)、トクサ(木賊)、ドクダミ(十葉)、トコン  
 (吐根)、トシシ又はマメダオシ又はネナシカズラ、トチ  
 ユウ(杜仲「樹皮、葉、根」)、トネリコ(秦皮)、トマ  
 ト、トラガント、トリアカンソス「種子」、トルメンチ  
 ラ、ドロノキ、トロロアオイ、ナイゼリアベリー「果  
 実」、ナガイモ又はヤマノイモ(山藥)、ナギイカダ(ブ  
 ッチャーブルーム)、ナギナタコウジュ、ナズナ、ナタ  
 ネ、ナタマメ又はタテハキ(刀豆)、ナツミカン、ナツメ  
 (大棗)、ナニワイバラ(金桜子)、ナベナ(続断)、ナメ  
 コ、ナルコユリ(黄精)、ナンキンマメ(落花生)、ナンテ  
 ン(南天実)、ナンバンカラムシ(苧麻)、ニガキ(苦木)、  
 ニガヨモギ(苦艾)、ニクズク、ケイ又はニッケイ又はセ  
 イロンニッケイ又はヤブニッケイ(桂皮)又はケイシ(桂  
 枝)、ニラ(韭菜)、ニワトコ(接骨木「果実、花、茎、  
 葉」)、ニンニク(大蒜)、ヌルデ(五倍子)、ネギ、ネム  
 ノキ又はネブ又はネビ又はネムリノキ又はジゴクバナ  
 (合歡)、ノアザミ(大薊)、ノイバラ(當実)、ノコギリソ  
 ウ、ノダケ(前胡)、ノバラ、ノモモ、パーム、バイナッ  
 ブル「果実」、ハイビスカス(ブッソウゲ、フウリンブ  
 ッソウゲ、ローゼル)、ハカマウラボシ(骨碎補)、ハク  
 セン(白癬皮)、ハクルベリー「果実」、ハコベ(繁縷)、  
 ハシバミ(榛子)、ハシリドコロ(ロート根)、バジル、ハ  
 ス(蓮、蓮肉、蓮子)、バセリ(オランダゼリ)、ハダカム  
 ギ、バタタ、ハチク又はマダケ(竹茹)、バチョリー、ハ  
 ッカ(薄荷、薄荷葉)、ハトムギ(ヨクイニン)、ハナスゲ  
 (知母)、バナナ、ハナハッカ、ハナビシ(シツリシ、シ  
 シツリ)、バニラピンズ、ババイヤ、ハハコグサ(鼠麴  
 草)、ハブ「全草、茎、葉」、バブリカ、ハマゴウ又は  
 ミツバハマゴウ(蔓荊子)、ハマスゲ(香附子)、ハマビシ  
 (シツリ子)、ハマナス(マイカイ花)、ハマボウフウ(浜  
 防風)、ハメリス、バラ(薔薇)、ハラタケ(ハラタケ、



シロオオハラタケ、ウスキモリノカサ)、ハラン、バリエタリア、ハルニレ(楡皮、楡白皮、楡葉)、ハンダイカイ(胖大海)、バンノキ、ヒオウギ(射干)、ヒカゲツルニンジン(党参)、プーアル茶、ピーカンナッツ、ヒガンバナ(石蒜、蔓珠沙華)、ヒキオコシ(延命草、延命皮)、ヒシ(菱実)、ピスタチオ、ビート、ヒトツバ(石葦)、ヒトツバエニシダ、ヒナタイノコズチ(牛膝)、ヒノキ、ヒバ、ヒマシ、ヒマワリ、ピーマン、ヒメウズ(天葵)、ヒメガマ(香蒲)、ヒメマツタケ(カワリハラタケ、ヒロマツタケ)、ビメンタ「果実」、ビャクシ、ビャッキウ、ヒユ「果実」、ピロウドアオイ、ヒロハオキナグサ(白頭翁)、ピワ「果実、葉、茎」、ピンロウ(大服皮、檳榔子)、フウトウカズラ(南籐)、フキ、フキタンボボ(款冬花、款冬葉)、フジバカマ(蘭草)、フジマメ(扁豆)、ブドウ「果実、果皮、種子、葉」、ブナ、フユムシナツクサタケ(冬虫夏草)、ブラジルカンゾウ、ブラジルニンジン、ブラックカーラント「果実」、ブラックベリー、ブラム「果実」、フルセラリア、ブルーベリー(セイヨウヒメスノキ)、ブルー、ブロードサイリウム、ブンドウ(緑豆)、ヘチマ、ベニバナ(紅花)、ヘネケン、ベラドンナ、ベリー「果実」、ベルビアンバーグ、ベンケイソウ又はイキクサ(景天)、ボイセンベリー「果実」、ホウキギ又はニワクサ又はネンドウ又はハハキギ・コキア(地膚子)、ホウセンカ(鳳仙、急性子、透骨草)、ボウフウ(防風)、ホウレンソウ、ホオズキ(登呂根)、ホオノキ(和厚朴、朴)、ボケ(木瓜)、ホソバナオケラ(蒼朮)、ホソバノキリンソウ(景天三七)、ホソババレンギク、ボダイジュ(菩提樹)、ボタン(牡丹、牡丹皮)、ホップ、ホホバ、ホワートルベリー「果実」、ホンオニク(肉じゅ蓉、大芸)、ホンセッコク(鉄皮石斛、雀山石斛)、マイズルテンナンショウ(天南星)、マイタケ(舞茸)、マオウ(麻黄)、マカデミアナッツ、マクリ(海人草)、マグワ(桑白皮「樹皮、葉」)、マグノリア又はスブレンゲリ、マタタビ(木天蓼)、マツカサ、松「葉、樹皮、根」、マツホド(茯苓)、マヨラム(ハナハッカ)、マルバノジャジン(苦参)、マルベリー「果実」、マルメロ、マンゴー、マンゴスチン、マンシュウグルミ、マンダリン「果実」、マンネンタケ(靈芝)、キジツ(枳実「果実」)、ミシマサイコ(柴胡)、ミズオオバコ又はミズアサガオ(竜舌草)、ミゾカクシ(半边蓮)、ミソハギ(千屈菜)、ミチヤナギ又はニワヤナギ(篇蓄)、ミツガシワ、ミツバ、ミドリハッカ、ミモザ、ミョウガ、ミラクルフルーツ「果実」、ミルラ、ミロバラン、ムクゲ(木槿)、ムクノキ、ムクロジ、ムラサキ(紫根)、ムラサキシキブ又はオオムラサキシキブ(紫珠)、ムラサキトウモロコシ、ムラサキナツツジ(昆明鶏血藤)、メハジキ(益母草)、メボウギ、メラロイカ、メリッサ、メリロート、メロン「果実」、モウコヨモギ、モウソウチク、モッコウ(木香)、モミジバダイオウ、モモ(桃「葉、種子、花、果実」)、モヤシ、モレロチェリー「果実」、

モロヘイヤ(黄麻)、ヤカワムラサキイモ、ヤクチ(益智)、ヤグルマソウ(ヤグルマギク)、ヤグルマハッカ、ヤシャブシ(矢車)又はヒメヤシャブシ又はオオバヤシャブシ「果実、果皮、果穂」、ヤチヤナギ、ヤツデ(八角金盤)、ヤドリギ(柳寄生)、ヤナギ(カワヤナギ、タチヤナギ、シダレヤナギ、アカメヤナギ、ネコヤナギ、イヌコリヤナギ、キヌヤナギ、コリヤナギ、ウンリュウヤナギ、ミヤマヤナギ、ヤマヤナギ、オオバヤナギ、タイリクキヌヤナギ、キツネヤナギ、ドロノキ)、ヤナギタデ「葉、茎」、ヤブガラシ、ヤブコウジ(紫金牛)、ヤブタバコ(鶴虱、天名精)、ヤマゴボウ(商陸)、ヤマハンノキ(山榛)、ヤマモモ(楊梅皮)、ヤマヨモギ、ユーカリ、ユキノシタ(虎耳草)、ユッカ又はフレビフォリア、ユズ「果実」、ユリ、ヨロイグサ、ヨモギ(艾葉)、ライガン(雷丸)、ライム「果実」、ライムギ、ラカンカ「果実」、ラズベリー「葉、果実」、ラタニア(クラメリア)、ラッキョウ又はエシャロット(薤白)、ラベンダー、リュウガン(竜眼肉)、リュウゼツラン(アオノリュウゼツラン、フクリンリュウゼツラン)、リョクチャ(緑茶)、リンゴ「果実、種子、葉、根」、リンドウ、ルバス又はスアピシムス(甜涼)、レイシ(荔枝、荔枝核)、レタス(チシャ)、レッドカーラント「果実」、レモン「果実」、レモングラス、レンギョウ又はシナレンギョウ(連翹)、レンゲソウ、ロウヤシ、ロコン(ヨシ、蘆根)、ローガンベリー「果実」、ローズマリー(マンネンロウ)、ローズヒップ(ノバラ)、ワサビ、ワレモコウ(地榆)などが挙げられる。

【0029】又、その他の海水類、例えば、海水塩、海水乾燥物、死海又は大西洋又は太平洋の海より得た無機塩(塩化ナトリウム、塩化マグネシウム、塩化カリウムなど)、海泥又は泥(ファンゴ)類、例えば、イタリアファンゴ、ドイツファンゴ、アイフェルファンゴ、フライブルグファンゴなどの各地の海泥又は泥(含有成分:二酸化珪素、二酸化チタン、酸化アルミニウム、酸化鉄、酸化マンガン、酸化ナトリウム、酸化カリウム、酸化マグネシウム、酸化カルシウム、酸化ストロンチウム、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、カルシウム、クロム、鉄、銅、ニッケル、亜鉛、鉛、マンガン、ヒ素、水)など。

【0030】海藻類としては、海藻[緑藻類:クロレラ・ブルガリス、クロレラ・ビレノイドサ、クロレラ・エリブソイディア、アオノリ(ウスバアオノリ、スジアオノリ、ヒラアオノリ、ボウアオノリ、ホソエダアオノリ)]、海藻[褐藻類:コンブ(マコンブ、リシリコンブ、ホソメコンブ、ミツイシコンブ)、ワカメ、ヒロメ、アオワカメ、ジャイアントケルプ(マクロシスティス・ピリフェラ、マクロシスティス・インテグリフォリア、ネオシスティス・ルエトケアーナ)、ヒジキ、ヒバマタ]、海藻[紅藻類:ヒジリメン、マクサ(テングサ)、ヒラクサ、オニクサ、オバクサ、カタオバクサ、ヤダベ

グサ、ユイキリ、シマテングサ、トサカノリ、トゲキリンサイ、アマクサキリンサイ、キリンサイ、ビャクシンキリンサイ、ツノマタ、オオバツノマタ、トチャカ(ヤハズツノマタ)、エゾツノマタ、トゲツノマタ、ヒラコトジ、コトジツノマタ、スギノリ、シキンノリ、カイノリ、イボツノマタ、ヤレウスバノリ、カギウスバノリ、スジウスバノリ、ハイウスバノリ、アカモジノリ]などが代表的なものとして挙げられる。

【0031】又、その他の藻類、例えば、緑藻類(クラミドモナス属:クラミドモナス、アカユキモ、ドゥナリエラ属:ドゥナリエラ、クロロコッカス属:クロロコッカス、クワノミモ属:クワノミモ、ボルボックス属:オオヒゲマワリ、ボルボックス、バルメラ属、ヨツメモ属、アオミドロ属:ヒザオリ、アオミドロ、ツルギミドロ属、ヒビミドロ属:ヒビミドロ、アオサ属:アナアオサ、アミアオサ、ナガアオサ、カワノリ属:カワノリ、フリッチエラ属、シオグサ属:オオシオグサ、アサミドリシオグサ、カワシオグサ、マリモ、バロニア属:タマゴバロニア、タマバロニア、マガタマモ属:マガタマモ、イワツタ属:フサイワツタ、スリコギツタ、ヘライワツタ、クロキツタ、ハネモ属、ミル属:ミル、クロミル、サキブチミル、ナガミル、ヒラミル、カサノリ属:カサノリ、ジュズモ属:フトジュズモ、タマジュズモ、ミゾジュズモ、ミカヅキモ属、コレカエテ属、ツヅミモ属、キッコウグサ属:キッコウグサ、ヒトエグサ属:ヒトエグサ、ヒロハノヒトエグサ、ウスヒトエグサ、モツキヒトエ、サヤミドロ属、クンショウモ属、スミレモ属:スミレモ、ホシミドロ属、フシナシミドロ属など)。

【0032】藍藻類(スイゼンジノリ属:スイゼンジノリ、アオコ属、ネンジュモ属:カワタケ、イシクラゲ、ハッサイ、ユレモ属、ラセンモ(スピリリナ)属:スピリリナ、トリコデスミウム(アイアカシオ)属など)。

【0033】褐藻類(ヒラエラ属:ヒラエラ、シオミドロ属:ナガミシオミドロ、イソブドウ属:イソブドウ、イソガラ属:イソガラ、クロガシラ属:グンセンクロガシラ、カシラザキ属:カシラザキ、ムチモ属:ムチモ、ヒラムチモ、ケベリグサ、アミジグサ属:アミジグサ、サキヒロアミジ、サナダグサ属:サナダグサ、フクリンアミジ、コモングサ属:コモングサ、ヤハズグサ属:エゾヤハズ、ヤハズグサ、ウラボシヤハズ、ジガミグサ属:ジガミグサ、ウミウチワ属:ウミウチワ、コナウミウチワ、アカバウミウチワ、ナミマクラ属:ヒルナミマクラ、ソメワケグサ属:ソメワケグサ、ナバリモ属:ナバリモ、チャソウメン属:モツキチャソウメン、マツモ属:マツモ、ナガマツモ属:ナガマツモ、オキナワモズク属:オキナワモズク、ニセフトモズク属:ニセフトモズク、フトモズク属:フトモズク、イシモズク属:イシモズク、クロモ属:クロモ、ニセモズク属:ニセモズク、モズク属:モズク、イシグ属:イシグ、イロ

ロ、イチメガサ属:イチメガサ、ケヤリ属:ケヤリ、ウミボッス属:ウミボッス、ウルシグサ属:ウルシグサ、ケウルシグサ、タバコグサ、コンブモドキ属:コンブモドキ、ハバモドキ属:ハバモドキ、ハバノリ属:ハバノリ、セイヨウハバノリ属:セイヨウハバノリ、コモンプクロ属:コモンプクロ、エゾブクロ属:エゾブクロ、フクロノリ属:フクロノリ、ワタモ、チシマフクロノリ属:チシマフクロノリ、カゴメノリ属:カゴメノリ、ムラリドリ属:ムラチドリ、サメズグサ属:サメズグサ、イワヒゲ属:イワヒゲ、ヨコジマノリ属:ヨコジマノリ、カヤモノリ属:カヤモノリ、ウイキョウモ属:ウイキョウモ、ツルモ属:ツルモ、アナメ属:アナメ、スジメ属:スジメ、ミスジコンブ属:ミスジコンブ、アツバミスジコンブ、コンブ属:ガツガラコンブ、カキジマコンブ、オニコンブ、ゴヘイコンブ、ナガコンブ、エンドウコンブ、オオチヂミコンブ、トロロコンブ属:トロロコンブ、アントクメ属:アントクメ、カジメ属:カジメ、ツルアラメ、クロメ、キクイシコンブ属:キクイシコンブ、ネジレコンブ属:ネジレコンブ、クロシオメ属:クロシオメ、ネコアシコンブ属:ネコアシコンブ、アラメ属:アラメ、アイヌワカメ属:アイヌワカメ、チガイソ、オニワカメエゾイシグ属:エゾイシグ、ヤバネモク属:ヤバネモク、ラッパモク属:ラッパモク、ジョロモク属:ウガノモク、ジョロモク、ヒエモク、ホンダワラ属:タマナシモク、イソモク、ナガシマモク、アカモク、シダモク、ホンダワラ、ネジモク、ナラサモ、マメタワラ、タツクリ、ヤツマタモク、ウミトラノオ、オオバモク、フシズシモク、ハハキモク、トゲモク、ヨレモク、ノコギリモク、オオバノコギリモク、スギモク属:スギモク、ウキモ属:オオウキモ、ブルウキモ属:ブルウキモ、カヤモノリ属:カヤモノリなど)。

【0034】紅藻類(ウシケノリ属:ウシケノリ、フノリノウシケ、アマノリ属:アサクサノリ、スサビノリ、ウップルイノリ、オニアマノリ、タサ、フイリタサ、ベニタサ、ロドコルトン属:ミルノベニ、アケボノモズク属:アケボノモズク、コナハダ属:ハイコナハダ、ヨゴレコナハダ、アオコナハダ、ウミゾウメン属:ウミゾウメン、ツクモノリ、カモガシラノリ、ベニモズク属:ベニモズク、ホソベニモズク、カサマツ属:カサマツ、フサノリ属:フサノリ、ニセフサノリ属:ニセフサノリ、ソデガラミ属:ソデガラミ、ガラガラ属:ガラガラ、ヒラガラガラ、ヒロハタマイタダキ属:ヒロハタマイタダキ、タマイタダキ属:タマイタダキ、カギケノリ属:カギノリ、カギケノリ、テングサ属:ヒメテングサ、ハイテングサ、オオブサ、ナンプグサ、コヒラ、ヨヒラ、キヌクサ、ヒビロウド属:ヒビロウド、ヒメヒビロウド、イソムメモドキ属:イソムメモドキ、ミチガエソウ属:ミチガエソウ、リュウモンソウ属:リュウモンソウ、ヘラリュウモン、ニセカレキグサ属:ニセカレキグサ、オキツバラ属:オオバオキツバラ、アカバ属:アカ

バ、マルバアカバ、ナミノハナ属：ホソバナミノハナ、  
 ナミノハナ、サンゴモドキ属：ガラガラモドキ、シオグ  
 サゴロモ属：シオグサゴロモ、イワノカワ属：エツキイ  
 ワノカワ、カキノカワ属：カキノカワ、カニノテ属：カ  
 ニノテ、サンゴモ属：サンゴモ、ムカデノリ属：ムカデ  
 ノリ、スジムカデ、カタノリ、ヒラムカデ、キョウノヒ  
 モ、サクラノリ、ニクムカデ、タンバノリ、ツルツル、  
 イソノハナ属：ヌラクサ、クロヌラクサ、オオムカデノ  
 リ、ヒラキントキ属：ヒラキントキ、マタボウ属：マタ  
 ボウ、キントキ属：チャボキントキ、キントキ、マツノ  
 リ、コメノリ、トサカマツ、ヒトツマツ、カクレイト  
 属：オオバキントキ、イトフノリ属：イトフノリ、ナガ  
 オバネ属：ナガオバネ、フノリ属：ハナフノリ、フクロ  
 フノリ、マフノリ、カレキグサ属：カレキグサ、トサカ  
 モドキ属：ホソバントサカモドキ、ヒロハントサカモド  
 キ、ヤツデガタトサカモドキ、クロトサカモドキ、ネザ  
 シノトサカモドキ、キヌハダ属：キヌハダ、エゾトサカ  
 属：エゾトサカ、ツカサノリ属：エナシカリメニア、オ  
 オツカサノリ、ハナガタカリメニア、ホウノオ属：ホウ  
 ノオ、ヒカゲノイト属：ヒカゲノイト、ウスギヌ、ニク  
 20 ホウノオ属：ニクホウノオ、ベニスナゴ属：ベニスナ  
 ゴ、ススカケベニ属：ススカケベニ、オカムラグサ属：  
 ヤマダグサ、ミリン属：ミリン、ホソバミリン、トサカ  
 ノリ属：キクトサカ、エゾナメシ属：エゾナメシ、イソ  
 モッカ属：イソモッカ、ユカリ属：ユカリ、ホソユカ  
 リ、イバラノリ属：イバラノリ、サイダイバラ、タチイ  
 バラ、カギイバラノリ、キジノオ属：キジノオ、イソダ  
 ンツウ属：イソダンツウ、アツバノリ属：アツバノリ、  
 オゴノリ属：オゴノリ、ツルシラモ、シラモ、オオオゴ  
 ノリ、ミゾオコノリ、カバノリ、テングサモドキ属：ハ  
 30 チジョウテングサモドキ、フシクレノリ属：フシクレノ  
 リ、ナミイワタケ属：ナミイワタケ、カイメンソウ属：  
 カイメンソウ、オキツノリ属：オキツノリ、サイミ属：  
 イタニグサ、サイミ、ハリガネ、ハスジグサ属：ハスジ  
 グサ、スギノリ属：イカノアシ、ホソイボノリ、ノボノ  
 リ、クロハギンナンソウ属：クロハギンナンソウ、アカ  
 バギンナンソウ属：アカバギンナンソウ、ヒシブクロ  
 属：ヒシブクロ、マダラグサ属：トゲマダラ、エツキマ  
 ダラ、タオヤギソウ属：タオヤギソウ、ハナサクラ、フ  
 クロツナギ属：フクロツナギ、スジコノリ、ハナノエダ  
 40 属：ハナノエダ、ヒラタオヤギ属：ヒラタオヤギ、ダル  
 ス属：ダルス、マサゴシバリ、アナダルス、ウエバグサ  
 属：ウエバグサ、ベニフクロノリ属：ベニフクロノリ、  
 フシツナギ属：フシツナギ、ヒメフシツナギ、ヒロハフ  
 シツナギ、ワツナギソウ属：ヒラワツナギソウ、ウスバ  
 ワツナギソウ、イギス属：イギス、ケイギス、ハリイギ  
 ス、ハネイギス、アミクサ、エゴノリ属：エゴノリ、フ  
 トイギス、サエダ属：サエダ、チリモミジ属：チリモミ  
 ジ、コノハノリ科：ハブタエノリ、コノハノリ、スズシ  
 ロノリ、ウスベニ属：ウスベニ、ハスジギヌ属：ハスジ

ギヌ、ナガコノハノリ属：ナガコノハノリ、スジギヌ  
 属：スジギヌ、アツバスジギヌ、ハイウスバノリ属：カ  
 ギウスバノリ、ヤレウスバノリ、スジウスバノリ、ハイ  
 ウスバノリ、ウスバノリモドキ属：ウスバノリモドキ、  
 アヤニシキ属：アヤニシキ、アヤギヌ属：アヤギヌ、ダ  
 ジア属：エナシダジア、シマダジア属：イソハギ、シマ  
 ダジア、ダジモドキ属：ダジモドキ、イトグサ属：モ  
 ロイトグサ、フトイグサ、マクリ属：マクリ、ヤナギノ  
 リ属：ハナヤナギ、ユナ、ヤナギノリ、モツレユナ、ベ  
 ニヤナギコリ、モサヤナギ、ササバヤナギノリ、ソゾ  
 属：クロソゾ、コブソゾ、ハネソゾ、ソゾノハナ、ハネ  
 グサ属：ハネグサ、ケハネグサ、コザネモ属：コザネ  
 モ、イソムラサキ、ホソコザネモ、ヒメゴケ属：ヒメゴ  
 ケ、クロヒメゴケ、ヒオドシグ属：キクヒオドシ、ヒオ  
 ドシグサ、ウスバヒオドシ、アイソメグサ属：アイソメ  
 グサ、スジナシグサ属：スジナシグサ、イソバショウ  
 属：イソバショウ、フジマツモ属：フジマツモ、ノコギ  
 リヒバ属：ハケサキノコギリヒバ、カワモズク属：カワ  
 モズク、アオカワモズク、ヒメカワモズク、イデユコゴ  
 メ属：イデユコゴメ、オキチモズク属：オキチモズク、  
 イトグサ属、チノリモ属：チノリモ、チスジノリ属：チ  
 スジノリなど。

【0035】車軸藻類（シャジクモ属、シラタマモ属、  
 ホシツリモ属：ホシツリモ、リクノタムヌス属、フラス  
 コモ属：ヒメフラスコモ、チャボフラスコモ、トリペラ  
 属など）、黄色藻類（ヒカリモ属：ヒカリモなど）な  
 ど。

【0036】又、動物系原料由来の素材としては、鶏冠  
 抽出物、牛又は人の胎盤抽出物、豚又は牛の胃や十二指  
 腸或いは腸の抽出物若しくはその分解物、豚又は牛の脾  
 臓の抽出物若しくはその分解物、豚又は牛の脳組織の抽  
 出物、水溶性コラーゲン、アシル化コラーゲン等のコラ  
 ーゲン誘導体、コラーゲン加水分解物、エラスチン、エ  
 ラスチン加水分解物、水溶性エラスチン誘導体、ケラチ  
 ン及びその分解物又はそれらの誘導体、シルク蛋白及び  
 その分解物又はそれらの誘導体、豚又は牛血球蛋白分解  
 物（グロビンペプチド）、豚又は牛ヘモグロビン分解物  
 （ヘミン、ヘマチン、ヘム、プロトヘム、ヘム鉄等）、  
 牛乳、カゼイン及びその分解物又はそれらの誘導体、脱  
 脂粉乳及びその分解物又はそれらの誘導体、ラクトフェ  
 リン又はその分解物、鶏卵成分、魚肉分解物など。

【0037】(14)微生物培養代謝物

酵母代謝物、酵母菌抽出エキス、納豆菌代謝物、納豆抽  
 出エキス、米発酵エキス、米糠発酵エキス、ユーグレナ  
 抽出物、生乳又は脱脂粉乳の乳酸発酵物やトレハロース  
 又はその誘導体など。

【0038】(15) $\alpha$ -ヒドロキシ酸類

グリコール酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、乳酸な  
 ど。

【0039】(16)無機顔料

無水ケイ酸、ケイ酸マグネシウム、タルク、カオリン、ベントナイト、マイカ、雲母チタン、オキシ塩化ビスマス、酸化ジルコニウム、酸化マグネシウム、酸化亜鉛、酸化チタン、炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、黄酸化鉄、ベンガラ、黒酸化鉄、グンジョウ、酸化クロム、水酸化クロム、カーボンブラック、カラミンなど。

【0040】(17)紫外線吸収/遮断剤

ベンゾフェノン誘導体(2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸ナトリウム、ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノン、ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノン-スルホン酸ナトリウム、2,4-ジヒドロキシベンゾフェノン、テトラヒドロキシベンゾフェノンなど)、p-アミノ安息香酸誘導体(パラアミノ安息香酸、パラアミノ安息香酸エチル、パラアミノ安息香酸グリセリル、パラジメチルアミノ安息香酸アミル、パラジメチルアミノ安息香酸オクチルなど)、メトキシ桂皮酸誘導体(パラメトキシ桂皮酸エチル、パラメトキシ桂皮酸イソプロピル、パラメトキシ桂皮酸オクチル、パラメトキシ桂皮酸2-エトキシエチル、パラメトキシ桂皮酸ナトリウム、パラメトキシ桂皮酸カリウム、ジパラメトキシ桂皮酸モノ-2-エチルヘキサン酸グリセリルなど)、サリチル酸誘導体(サリチル酸オクチル、サリチルフェニル、サリチル酸ホモメンチル、サリチル酸ジブロピレングリコール、サリチル酸エチレングリコール、サリチル酸ミリスチル、サリチル酸メチルなど)、アントラニル酸誘導体(アントラニル酸メチルなど)、ウロカニン酸誘導体(ウロカニン酸、ウロカニン酸エチルなど)、クマリン誘導体、アミノ酸系化合物、ベンゾトリアゾール誘導体、テトラゾール誘導体、イミダゾリン誘導体、ピリミジン誘導体、ジオキサラン誘導体、カンファー誘導体、フラン誘導体、ピロン誘導体、核酸誘導体、アラントイン誘導体、ニコチン酸誘導体、ビタミンB6誘導体、ウンベリフェロン、エスクリン、桂皮酸ベンジル、シノキサート、オキシベンゾン、ジオキシベンゾン、オクタベンゾン、スリソベンゾン、ベンゾレソルシノール、アルブチン、グアイアズレン、シコニン、バイカリン、バイカレイン、ベルベリン、ネオヘリオパン、エスカロール、酸化亜鉛、タルク、カオリンなど。

【0041】(18)美白剤

p-アミノ安息香酸誘導体、サルチル酸誘導体、アントラニル酸誘導体、クマリン誘導体、アミノ酸系化合物、ベンゾトリアゾール誘導体、テトラゾール誘導体、イミダゾリン誘導体、ピリミジン誘導体、ジオキサラン誘導体、カンファー誘導体、フラン誘導体、ピロン誘導体、核酸誘導体、アラントイン誘導体、ニコチン酸誘導体、ビタミンC又はその誘導体、ビタミンE又はその誘導体、オキシベンゾン、ベンゾフェノン、アルブチン、グアイアズレン、シコニン、バイカリン、バイカレイン、ベルベ

リン、胎盤エキスなど。

【0042】(19)チロシナーゼ活性阻害剤

ビタミンC酸又はその誘導体、ハイドロキノン又はその誘導体(ハイドロキノンベンジルエーテル)、コウジ酸又はその誘導体、ビタミンE又はその誘導体、N-アセチルチロシン又はその誘導体、グルタチオン、過酸化水素、過酸化亜鉛、ハイドロキノンモノベンジルエーテル、胎盤エキス、シルク抽出物、植物エキス(クワ、トウキ、ワレモコウ、クララ、ヨモギ、スイカズラ、キハダ、ドクダミ、マツホド、ハトムギ、オドリコソウ、ホップ、サンザシ、ユーカリ、セイヨウノコギリソウ、アルテア、ケイヒ、マンケイシ、ハママリス、ヤマグワ、延命草、桔梗、トシシ、続随子、射干、麻黄、センキュウ、ドクカツ、サイコ、ボウフウ、ハマボウフウ、オウゴン、牡丹皮、シャクヤク、ゲンノショウコ、葛根、甘草、五倍子、アロエ、ショウマ、紅花、緑茶、紅茶、阿仙薬)など。

【0043】(20)メラニン色素還元/分解物質

フェニル水銀ヘキサクロロフェン、酸化第二水銀、塩化第一水銀、過酸化水素水、過酸化亜鉛、ハイドロキノン又はその誘導体(ハイドロキノンベンジルエーテル)など。

【0044】(21)ターンオーバーの促進作用/細胞賦活物質

ハイドロキノン、乳酸菌エキス、胎盤エキス、靈芝エキス、ビタミンA、ビタミンE、アラントイン、脾臓エキス、胸腺エキス、酵母エキス、発酵乳エキス、植物エキス(アロエ、オウゴン、スギナ、ゲンチアナ、ゴボウ、シコン、ニンジン、ハママリス、ホップ、ヨクイニン、オドリコソウ、センブリ、トウキ、トウキンセンカ、アマチャ、オトギリソウ、キュウリ、タチジャコウソウ、ローズマリー、バセリ)など。

【0045】(22)収斂剤

コハク酸、アラントイン、塩化亜鉛、硫酸亜鉛、酸化亜鉛、カラミン、p-フェノールスルホン酸亜鉛、硫酸アルミニウムカリウム、レゾルシン、塩化第二鉄、タンニン酸(カテキン化合物を含む)など。

【0046】(23)活性酸素消去剤

SOD、カタラーゼ、グルタチオンパーオキシダーゼなど。

【0047】(24)抗酸化剤

ビタミンC酸又はその塩、ステアリン酸エステル、ビタミンE又はその誘導体、ノルジヒドログアセレン酸、ブチルヒドロキシトルエン(BHT)、ブチルヒドロキシアニソール(BHA)、ヒドロキシチロソール、パラヒドロキシアニソール、没食子酸プロピル、セサモール、セサモリン、ゴシボールなど。

【0048】(25)過酸化脂質生成抑制剤

β-カロテン、植物エキス(ゴマ培養細胞、アマチャ、オトギリソウ、ハママリス、チョウジ、メリッサ、エン

メイソウ、シラカバ、セージ、ローズマリー、南天実、エイジツ、イチョウ、緑茶)など。

【0049】(26)抗炎症剤

イクタモール、インドメタシン、カオリン、サリチル酸、サリチル酸ナトリウム、サリチル酸メチル、アセチルサリチル酸、塩酸ジフェンヒドラミン、d-カンフル、dl-カンフル、ヒドロコルチゾン、グアイアズレン、カマズレン、マレイン酸クロルフェニラミン、グリチルリチン酸又はその塩、グリチルレチン酸又はその塩、甘草エキス、シコンエキス、エイジツエキスなど。

【0050】(27)抗菌・殺菌・消毒薬

アクリノール、イオウ、グルコン酸カルシウム、グルコン酸クロルヘキシジン、スルファミン、マーキュロクロム、ラクトフェリン又はその加水分解物、塩化アルキルジアミノエチルグリシン液、トリクロサン、次亜塩素酸ナトリウム、クロラミンT、サラシ粉、ヨウ素化合物、ヨードホルム、ソルビン酸又はその塩、サルチル酸、デヒドロ酢酸、バラヒドロキシ安息香酸エステル類、ウンデシレン酸、チアミンラウリル硫酸塩、チアミンラウリル硝酸塩、フェノール、クレゾール、p-クロロフェノール、p-クロロ-m-キシレノール、p-クロロ-m-クレゾール、チモール、フェネチルアルコール、o-フェニルフェノール、イルガサンCH3565、ハロカルバン、ヘキサクロロフェン、クロロヘキシジン、エタノール、メタノール、イソプロピルアルコール、ベンジルアルコール、エチレングリコール、プロピレングリコール、フェノキシエタノール、クロロブタノール、イソプロピルメチルフェノール、非イオン界面活性剤(ポリオキシエチレンラウリルエーテル、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル、ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルなど)、両性界面活性剤、アニオン界面活性剤(ラウリル硫酸ナトリウム、ラウロイルサルコシンカリウムなど)、カチオン界面活性剤(臭化セチルトリメチルアンモニウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、塩化メチルロザニリン)、ホルムアルデヒド、ヘキサミン、ブリリアントグリーン、マラカイトグリーン、クリスタルバイオレット、ジャーマル、感光素101号、感光素201号、感光素401号、N-長鎖アシル塩基性アミノ酸誘導体及びその酸附加塩、酸化亜鉛、ヒノキチオール、クジンなど。

【0051】(28)保湿剤

グリセリン、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、ヒアルロン酸又はその塩、ポリエチレングリコール、コンドロイチン硫酸又はその塩、水溶性キチン或いはキトサン誘導体、ピロリドンカルボン酸又はその塩、乳酸ナトリウム、ミニササニシキエキス、納豆菌代謝物、納豆抽出エキスなど。

【0052】(29)エラスターゼ活性阻害剤

フロオロリン酸ジイソプロピル、植物エキス(オウゴン、オトギリソウ、クララ、桑の葉、ケイヒ、ゲンノシ

ョウコ、コンフリー、セージ、セイヨウニワトコ、ボダイジュ、ボタンビ)、海藻エキスなど。

【0053】(30)頭髮用剤

二硫化セレン、臭化アルキルイソキノリニウム液、ジニクビリチオン、ビフェナミン、チアントール、カスターチンキ、ショウキョウチンキ、トウガラシチンキ、塩酸キニーネ、強アンモニア水、臭素酸カリウム、臭素酸ナトリウム、チオグリコール酸など。

【0054】(31)抗アンドロゲン剤

10 卵胞ホルモン(エストロン、エストラジオール、エチニルエストラジオールなど)、イソフラボン、オキシセンドロンなど。

【0055】(32)末梢血管血流促進剤

ビタミンE又はその誘導体、センブリエキス、ニンニクエキス、人参エキス、アロエエキス、ゲンチアナエキス、トウキエキス、セファランチン、塩化カルブプロニウム、ミノキシジルなど。

【0056】(33)局所刺激剤

20 トウガラシチンキ、ノニル酸バニルアミド、カンタリスチンキ、ショウキョウチンキ、ハッカ油、1-メントール、カンフル、ニコチン酸ベンジルなど。

【0057】(34)代謝活性剤

感光素301号、ヒノキチオール、パントテン酸又はその誘導体、アラントイン、胎盤エキス、ビオチン、ベンタデカン酸グリセリドなど。

【0058】(35)抗脂漏剤

ビリドキシン又はその誘導体、イオウ、ビタミンB6など。

【0059】(36)角質溶解剤

30 レゾルシン、サリチル酸、乳酸など。

【0060】(37)酸化剤

過酸化水素水、過硫酸ナトリウム、過硫酸アンモニウム、過ホウ酸ナトリウム、過酸化尿素、過炭酸ナトリウム、過酸化トリポリリン酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、臭素酸カリウム、過酸化ピロリン酸ナトリウム、過酸化オルソリン酸ナトリウム、ケイ酸ナトリウム過酸化水素付加体、硫酸ナトリウム塩化ナトリウム過酸化水素付加体、β-チロシナーゼ酵素液、マッシュルーム抽出液など。

40 【0061】(38)除毛剤

硫酸ストロンチウム、硫化ナトリウム、硫化バリウム、硫化カルシウムなどの無機系還元剤、チオグリコール酸又はその塩類(チオグリコール酸カルシウム、チオグリコール酸ナトリウム、チオグリコール酸リチウム、チオグリコール酸マグネシウム、チオグリコール酸ストロンチウム)など。

【0062】(39)毛髪膨潤剤

エタノールアミン、尿素、グアニジンなど。

【0063】(40)染料剤

50 5-アミノオルトクレゾール、2-アミノ-4-ニトロフェノ

ール、2-アミノ-5-ニトロフェノール、1-アミノ-4-メチルアミノアントラキノン、3,3'-イミノジフェノール、塩酸2,4-ジアミノフェノキシエタノール、塩酸2,4-ジアミノフェノール、塩酸トルエン-2,5-ジアミン、塩酸ニトロバラフェニレンジアミン、塩酸バラフェニレンジアミン、塩酸N-フェニルバラフェニレンジアミン、塩酸メタフェニレンジアミン、オルトアミノフェノール、酢酸N-フェニルバラフェニレンジアミン、1,4-ジアミノアントラキノン、2,6-ジアミノピリジン、1,5-ジヒドロキシナフタレン、トルエン-2,5-ジアミン、トルエン-3,4-ジアミン、ニトロバラフェニレンジアミン、バラアミノフェノール、バラニトロオルトフェニレンジアミン、バラフェニレンジアミン、バラメチルアミノフェノール、ピクラミン酸、ピクラミン酸ナトリウム、N,N'-ビス(4-アミノフェニル)-2,5-ジアミノ-1,4-キノンジイミン、5-(2-ヒドロキシエチルアミノ)-2-メチルフェノール、N-フェニルバラフェニレンジアミン、メタアミノフェノール、メタフェニレンジアミン、硫酸5-アミノオルトクレゾール、硫酸2-アミノ-5-ニトロフェノール、硫酸オルトアミノフェノール、硫酸オルトクロルバラフェニレンジアミン、硫酸4,4'-ジアミノジフェニルアミン、硫酸2,4-ジアミノフェノール、硫酸トルエン-2,5-ジアミン、硫酸ニトロバラフェニレンジアミン、硫酸バラアミノフェノール、硫酸バラニトロオルトフェニレンジアミン、硫酸バラニトロメタフェニレンジアミン、硫酸バラフェニレンジアミン、硫酸バラメチルアミノフェノール、硫酸メタアミノフェノール、硫酸メタフェニレンジアミン、カテコール、ジフェニルアミン、 $\alpha$ -ナフトール、ヒドロキノン、ピロガロール、フロログルシン、没食子酸、レゾルシン、タンニン酸、2-ヒドロキシ-5-ニトロ-2',4'-ジアミノアゾベンゼン-5'-スルホン酸ナトリウム、ヘマテインなど。

#### 【0064】(41)香料

ジャコウ、シベット、カストリウム、アンバグリスなどの天然動物性香料、アニス精油、アンゲリカ精油、イランイラン精油、イリス精油、ウイキョウ精油、オレンジ精油、カナンガ精油、カラウエー精油、カルダモン精油、グアヤクウッド精油、クミン精油、黒文字精油、ケイ皮精油、シンナモン精油、グラニウム精油、コバイバルサム精油、コリアンデル精油、シソ精油、シダーウッド精油、シトロネラ精油、ジャスミン精油、ジンジャーグラス精油、杉精油、スベアミント精油、西洋ハッカ精油、大茴香精油、チュベローズ精油、丁字精油、橙花精油、冬緑精油、トルーバルサム精油、パチュリー精油、バラ精油、バルマローザ精油、桧精油、ヒバ精油、白檀精油、ブチグレン精油、ベイ精油、ベチバ精油、ベルガモット精油、ベルーバルサム精油、ボアドローズ精油、芳樟精油、マンダリン精油、ユーカリ精油、ライム精油、ラベンダー精油、リナロエ精油、レモングラス精油、レモン精油、ローズマリー精油、和種ハッカ精油な

どの植物性香料、その他合成香料など。

#### 【0065】(42)色素・着色剤

赤キャベツ色素、赤米色素、アカネ色素、アナトー色素、イカスミ色素、ウコン色素、エンジュ色素、オキアミ色素、柿色素、カラメル、金、銀、クチナシ色素、コーン色素、タマネギ色素、タマリンド色素、スピルリナ色素、ソバ全草色素、チェリー色素、海苔色素、ハイビスカス色素、ブドウ果汁色素、マリーゴールド色素、紫イモ色素、紫ヤマイモ色素、ラック色素、ルチンなど。

【0066】その他、ホルモン類、金属イオン封鎖剤、pH調整剤、キレート剤、防腐・防バイ剤、清涼剤、安定化剤、乳化剤、動・植物性蛋白質又はその分解物、動・植物性多糖類又はその分解物、動・植物性糖蛋白質又はその分解物、消炎剤・抗アレルギー剤、創傷治療剤、気泡・増泡剤、増粘剤、口腔用剤、消臭・脱臭剤、酵素などが上げられ、これらとの併用によって、相加的又は相乗的な各種の効果が期待できる。

【0067】本発明の化粧料組成物、浴用剤組成物、洗剤組成物は、それぞれ液状、乳液状、ペースト状、ゲル状、パウダー状（粉末状）、顆粒状、ペレット状、スティック状、固形状等の何れの形態として提供されてもよい。

【0068】化粧料組成物としては、化粧水（ローション）、乳液、クリーム、オイル、軟膏、パック、リップ、口紅、ファンデーション、アイライナー、頬紅、マスカラ、アイシャドウ、マニキュア・ペディキュア、爪被覆剤、爪被覆除去剤、ひげ剃り用剤、シャンプー、リンス、ヘアトリートメント、ヘアトニック、ヘアスプレー、ヘアクリーム、ヘアローション、整髪料、育毛料、パーマメント液、染毛料、ハンドソープ・ボディソープ、歯磨き剤、洗口料、洗顔料・石鹸類等が上げられる。

【0069】浴用剤組成物は、入浴時、浴湯に投じて使用するもので、液状、粉末状、顆粒状、固形状など性状は何れであってもよい。

【0070】洗剤組成物は、日常的に使用する台所用洗剤、浴室、洗面器又はトイレ用洗剤、ガラス用クリーナー、メガネ・コンタクトレンズ洗浄剤、車用洗浄剤、建材クリーナーなどが上げられる。

【0071】その他、衛生用品、ウェットタイプのティッシュペーパー、紙タオル、コットンなどに含浸させておくこともできる。

【0072】本発明の化粧料組成物および洗剤組成物においては保湿性植物抽出物は、乾燥エキス分として0.001~5重量%程度、好ましくは0.01~1重量%程度含有していると使用性および良好な効果が得られる。また浴用剤組成物においては、浴湯中における濃度が0.00001~0.01重量%、好ましくは0.0005~0.005重量%程度となる1回分使用量を設定するとよい。

【0073】



## 【発明の実施の形態】

## 【実施例】植物抽出物の製造例1

植物(1kg)に対し、30%エタノール(EtOH)水溶液(10L)を添加し、常温で3日間浸漬抽出する。尚、1日に2~3回軽く攪拌するとよい。次いで、これを濾過して抽出液を得る。必要に応じ、抽出液を濃縮、又はさらに乾燥する。

## 【0074】

## 【実施例】植物抽出物の製造例2

植物(1kg)に対し、30%1,3-ブチレングリコール(BG)水溶液(10L)または30%プロピレングリコール(PG)水溶液(10L)を添加し、常温で3日間浸漬抽出する。尚、1日に2~3回軽く攪拌するとよい。次いで、これを濾過して抽出液を得る。

## 【0075】

## 【実施例】植物抽出物の製造例3

植物(1kg)に対し、精製水(10L)を添加し、常温で3日間浸漬抽出する。尚、1日に2~3回軽く攪拌するとよい。次いで、これを濾過して抽出液を得る。必要に応じ、抽出液を濃縮、又はさらに乾燥する。

## 【0076】

## 【実施例】安全性試験

## (1)皮膚一次刺激性試験

製造例1~3で得た各植物抽出物を溶解した水溶液(固形分濃度5.0%)を調整し、背部を除毛したハートレー系モルモット(1群5匹、体重320g前後)の皮膚に貼付した。判定は、貼付後24時間に一次刺激性の評点法により紅斑および浮腫を指標として行った。その結果、すべての動物において、何等、紅斑および浮腫を認めず陰性と判定された。

## 【0077】(2)皮膚累積刺激性試験

製造例1~3で得た各植物抽出物を溶解した水溶液(固形分濃度5.0%)を調整し、側腹部を除毛したハートレー系モルモット(雌性、1群5匹、体重320g前後)の皮膚に1日1回の頻度で、週5回、0.5mL/動物当りを塗布した。塗布は、4週にわたって、また除毛は各週の最終塗布日に行った。判定は、各週の最終日の翌日に一次刺激性の評点法により、紅斑および浮腫を指標として行った。その結果、すべての動物において、塗布後1~4週目にわたり何等紅斑および浮腫を認めず陰性と判定された。

## 【0078】

## 【実施例】植物抽出物の保湿性1

本発明の植物抽出物の保湿性を評価するため、モニターによる角層水分含有量の経時変化を電気伝導度を測定することにより求めた。

(試料溶液)各植物の精製水抽出液(固形分濃度0.01%に調整)

(測定器)IMPEDANCE METER SKICON-200; IBS株式会社製

(モニター)20才女性、22才女性、26才女性

(試験環境)24°C、50%RH

(方法)試験1時間前より試験環境に調整された恒温恒湿室にモニターを入室させ、安定させる。その後、モニターの前腕屈側に各試料溶液(1mL)を塗布し、60秒後に余剰な水分を除去し、角層の電気伝導度を経時的に測定する。

【0079】図1~3はその結果である。本発明による植物抽出物は同固形分濃度のアロエベラ抽出物(比較例)より、保湿効果が高くかつ長く維持されていることが判明した。

## 【0080】

## 【実施例】植物抽出物の保湿性2

本発明の植物抽出物の保湿性を評価するため、モニターによる経表皮水分喪失量の経時変化を測定した。

(試料溶液)各植物の30%EtOH抽出物の水溶液(固形分濃度0.01%に調整)

(測定器)TEWAMETER TM210; COURAGE+KHAZAKA Electronic GmbH製

(モニター)23才女性、29才男性、24才女性、35才女性、35才男性

(方法)モニターの左右前腕屈側に各試料水溶液(1mL)を1日3回塗布する。3回目の塗布後、恒温恒湿室(24°C、50%RH)にて1時間安定させた後、経表皮水分喪失量の測定を始める。測定は、2秒間隔で3分間測定し、全数値の平均値を被検部位のTEWL値とする。尚、各々のブランクは検体塗布前に同条件にて測定した。

【0081】表1は5名のモニターの平均水分変化量の結果である。本発明による植物抽出物は経表皮水分蒸発量を抑制し、良好な保湿作用を示すことが判明した。

〈表1〉

試料溶液	経皮水分蒸散量 (g/m <sup>2</sup> hr)
ブランク	18.4
精製水	14.3
アグアヘ	9.0
アチラ	8.2
アルガローボ	8.6
ウィート	8.1
オカ	10.0
オユーコ	9.2
カニーワ	8.0
クブアス	8.0
タルウィ	8.2
マカ	9.1
マシュア	7.9
モジェ	8.2
ヤーコン	8.4
比較対象：アロエベラ	10.3

【0082】

【実施例】肌荒れ改善効果

製造例1～3で得た植物抽出液の肌荒れに対する改善効果を評価するため、肌荒れモデルを作成したモルモットを使用し、適用試験を実施した。尚、検体は同一の固形分濃度に調整し、また比較対象として溶媒のみについても実施した。

＊（方法）背部を除毛したハートレー系モルモット（雌性、5週齢、1群3匹）に、白色ワセリンにて3重量%に調整したラウリル硫酸ナトリウム（0.2g）を3日間連続解放塗布して肌荒れを作成した。肌荒れ作成部位を4分し、各検体（1.0mL）を3回/日塗布し、3日後観察により定められた判定基準（スコア）に従い肌荒れ度を評価した。

（判定基準）紅斑、落屑ともほとんどみられない	1点
紅斑を伴わない軽度の落屑	2点
紅斑を伴わない中等度の落屑	3点
弱い紅斑を伴った落屑	4点
中等度の紅斑を伴った落屑	5点
著しい紅斑を伴った落屑	6点

【0083】結果は表2の通りであった。本発明の植物抽出物は、肌荒れ改善に有効であると認められた。ま

た、異なる植物抽出物の組み合わせによっては相乗的効果も得られることが確認された。



(表2)

群	試験検体 (固形分濃度)	スコア合計
1	アグアヘ30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	8
	アグアヘ30%EtOH抽出液(0.01%)	9
	30%1, 3-BG溶液	16
	30%EtOH溶液	18
2	アルガローボ30%PG抽出液(0.01%)	7
	アルガローボ30%EtOH抽出液(0.01%)	8
	30%PG溶液	17
	30%EtOH溶液	18
3	オユーコ精製水抽出液(0.01%)	10
	オユーコ30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	8
	精製水	18
	30%1, 3-BG	16
4	アチラ精製水抽出液(0.01%)	11
	アチラ30%EtOH抽出液(0.01%)	11
	ウィート30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	8
	ウィート30%PG溶液(0.01%)	9
5	オカ30%PG抽出液(0.01%)	11
	オカ30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	9
	タルウィ30%EtOH抽出液(0.01%)	12
	タルウィ精製水抽出液(0.01%)	11
6	カニーワ30%EtOH抽出液(0.01%)	12
	カニーワ30%PG抽出液(0.01%)	10
	マシュア精製水抽出液(0.01%)	11
	マシュア30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	9
7	クブアス30%EtOH抽出液(0.01%)	12
	クブアス30%PG抽出液(0.01%)	10
	モジェ30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	10
	モジェ30%PG抽出液(0.01%)	12
8	ヤーコン30%EtOH抽出液(0.01%)	13
	ヤーコン30%PG抽出液(0.01%)	10
	マカ30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	8
	マカ30%PG抽出液(0.01%)	9
	(アルガローボ+ウィート)30%EtOH抽出液(0.01%)	6

29		30	
9	(アチラ+ヤーコン)30%1,3-BG抽出液(0.01%)	9	
	(クブアス+マカ)精製水抽出液(0.01%)	8	
	(マシュア+カニーワ)30%EtOH抽出液(0.01%)	9	
10	(オユーコ+モジェ)30%PG抽出液(0.01%)	8	
	(タルウィ+アグアヘ)精製水抽出液(0.01%)	7	
	(カニーワ+アチラ)30%1,3-BG抽出液(0.01%)	8	
	(オカ+クブアス)30%PG抽出液(0.01%)	8	

【0084】

10\* 処方例を示すが、本発明はこれらに限定されるわけではない。

【実施例】各種外用剤組成物の製造

本発明による各種外用剤組成物を製造した。以下にその\*

【0085】

## (1)ローションの製造例

	重量%
1. ソルビット	2
2. 1,3-ブチレングリコール	2
3. ポリエチレングリコール1000	1
4. ポリオキシエチレンオレイルエーテル(25E.O.)	2
5. エタノール	10
6. マカ20%EtOH抽出液(固形分1.2%)	2
7. クブアス30%1,3-BG抽出液(固形分1.0%)	2
8. ヤーコン精製水抽出液(固形分1.2%)	2
9. 防腐剤	適量
10. 精製水	100とする残余

【0086】

## (2)乳液の製造例

	重量%
1. スクワラン	3
2. ワセリン	1
3. ステアリルアルコール	0.3
4. ソルビタンモノステアレート	1.5
5. ポリオキシエチレン(20)ソルビタンモノオレート	3
6. 1,3-ブチレングリコール	5
7. アグアヘ50%1,3-BG抽出液(固形分1.0%)	0.5
8. ウィート精製水抽出液(固形分1.0%)	2
9. 精製水	100とする残余

【0087】

## (3)クリームの製造例

	重量%
1. スクワラン	20
2. ミツロウ	5
3. 精製ホホバ油	5
4. グリセリンモノステアレート	2
5. ソルビタンモノステアレート	2
6. ポリオキシエチレン(20)ソルビタンモノステアレート	2
7. グリセリン	5
8. オユーコ50%1,3-BG抽出液(固形分1.2%)	1
9. アチラ精製水抽出液(固形分1.0%)	1
10. 精製水	100とする残余

【0088】

## (4) ボディーソープの製造例

	重量%
1. ラウリン酸カリウム	15
2. ミリスチン酸カリウム	5
3. プロピレングリコール	5
4. カニーワ20%PC抽出液(固形分1.1%)	2
5. ウィート精製水抽出液(固形分1.4%)	2
6. pH調整剤	適量
7. 防腐剤	適量
8. 精製水	100とする残余

【0089】

## (5) シャンプー

	重量%
1. ラウリル硫酸トリエタノールアミン	5
2. ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸Na	12
3. 1,3-ブチレングリコール	4
4. ラウリン酸ジエタノールアミド	2
5. エデト酸二ナトリウム	0.1
6. アルガローボ精製水抽出液(固形分1.4%)	1
7. クブアス40%PC抽出液(固形分1.2%)	2
8. 香料,防腐剤	適量
9. 精製水	100とする残余

【0090】

## (6) リンス

	重量%
1. 塩化ステアリルトリメチルアンモニウム	2
2. セトステアリルアルコール	2
3. ポリオキシエチレンラノリンエーテル	3
4. プロピレングリコール	5
5. オカ精製水抽出液(固形分1.0%)	1
6. タルウィ40%1,3-BG抽出液(固形分1.2%)	2
7. pH調整剤	適量
8. 防腐剤	適量
9. 精製水	100とする残余

【0091】

## (7) ヘアトニック

	重量%
1. エタノール	50
2. オレイン酸エチル	1
3. ポリオキシエチレン(40)硬化ヒマシ油	2
4. カニーワ20%EtOH抽出液(固形分1.2%)	2
5. マカ20%EtOH抽出液(固形分1.2%)	1
6. 精製水	100とする残余

【0092】

## (8) 浴用剤(Aタイプ)の製造例

	重量%
1. 炭酸水素ナトリウム	56
2. 無水硫酸ナトリウム	30
3. ホウ砂	2
4. マシユア精製水抽出末	10

33

34

5. 植物抽出末(カミツレ、トウキ)

2

6. 精製水

100とする残余

【0093】

## (9)浴用剤(Bタイプ)の製造例

重量%

1. 精製ホホバ油

5

2. ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート

20

3. グリセリンモノステアレート

5

4. 流動パラフィン

2

5. ラウリン酸ジエタノールアミド

3

6. アグアへ20%EtOH抽出濃縮液(固形分15%)

2

7. オユーコ精製水抽出濃縮液(固形分15%)

2

8. 植物抽出液(センキュウ、チンピ、固形分1.0%)

10

9. 精製水

100とする残余

【0094】

## (10)洗顔料の製造例

重量%

1. ミリスチン酸トリエタノールアミン

15

2. ラウリルジメチルアミンオキシド

3

3. プロピレングリコール

5

4. グリセリン

5

5. 変性エタノール

3

6. タルウィ20%EtOH抽出液(固形分1.5%)

2

7. アチラ20%1,3-BG抽出液(固形分1.5%)

2

8. エチレングリコールジステアリル

3

9. 精製水

100とする残余

【0095】

## (11)洗口料の製造例

重量%

1. エタノール

30

2. グリセリン

15

3. ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油

1

4. サッカリン

0.1

5. クロロヘキシジン

0.003

6. オカ20%EtOH抽出液(固形分1.2%)

2

7. アルガローボ精製水抽出液(固形分1.5%)

2

8. 精製水

100とする残余

【0096】

## (12)食器用洗剤の製造例

重量%

1. アルキル(C12)グリコシド

15

2. ポリオキシエチレン(3)ドデシルエーテル硫酸Na

10

3. モジェ20%EtOH抽出液(固形分1.2%)

3

4. ヤーコン20%1,3-BG抽出液(固形分1.5%)

3

5. エタノール

5

6. 精製水

100とする残余

【0097】

【実施例】各種外用剤組成物の使用試験

(1)実施要領

実施例で製造した乳液、浴用剤B、シャンプー、リン

ス、ヘアトニック、洗顔料を試験品(a)とし、男女バネラー(全10名)による使用試験を実施した。比較品(b)として各外用剤組成物の処方中、本発明の保湿性植物抽出液又は抽出物をのぞいたものを準備し、試験開

始後1カ月間は試験品(a)を、次いで翌1カ月間は比較品(b)を下記条件で使用してもらいアンケートによる回答を求めた。【0098】

## (2)使用条件

乳液 : 朝洗顔直後、夜入浴直後、顔に適用。各3mL、各1回/日  
 浴用剤B : 浴湯に投げ入浴、30g、1回/日  
 シャンプー : 洗髪時に使用、10mL、1回/日  
 リンス : シャンプー直後に使用、10mL、1回/日  
 ヘアトニック : 洗髪後に使用、10mL、1回/日  
 洗顔料 : 朝・夕洗顔時に使用、各3mL、各1回/日

【0099】(3)アンケート結果

※10※アンケートによる回答結果を表3に示す。

(表3)

使用試験アンケート結果 (数値:人数)										
アンケート項目	乳 液		浴用剤 B		シャンプー リンス		ヘアト ニック		洗顔料	
(良好な方を選択)	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b
しっとり感(保湿感)	9	1	8	2	8	2	9	1	7	3
保湿感の持続性	9	1	9	1	8	2	9	1	8	2
使用時の感触性	5	5	5	5	6	4	6	4	6	4
柔軟性付与(肌/髪)	9	1	7	3	8	2	9	1	7	3
肌荒れの予防/改善	9	1	8	2	—	—	—	—	7	3
(a)が優れていたと思う自由な意見(代表例) ・肌質が改善されたと思う。メイクのノリが良くなった(乳液) ・以前に比べ、肌に弾力感を感じる(乳液) ・浴後、背中やひじ・ひざのカサツキがなくなった(浴用剤B) ・浴後、背中やひじ・ひざのカサツキがなくなった(浴用剤B) ・洗髪後、髪がきしんだりバサつかない(シャンプー/リンス) ・髪が適度にしっとりし、また柔軟で整髪性がよい(ヘアトニック) ・髪がツヤツヤし、光沢がでてきた(ヘアトニック) ・洗顔後の肌のツッパリ感がなくなった(洗顔料)										

## 【0100】

【発明の効果】本発明の化粧料、浴用剤は、長時間保湿効果が継続する保湿性植物成分を含有し、皮膚に対しては、乾燥、肌荒れ、ヒビ、アカギレ、フケ、カユミ、炎症性疾患等の予防、軽減又は改善に、又、毛髪に対しては、乾燥、バサツキ、枝毛、切れ毛、光沢付与等に奏効する。また、従来、肌荒れ、ヒビ、アカギレ等のスキントラブルが懸念されてきた家庭用洗剤などにおいても、保湿性植物抽出物がこのようなトラブルを起すことにより緩和し、肌をいたわる洗剤組成物を提供することができる。

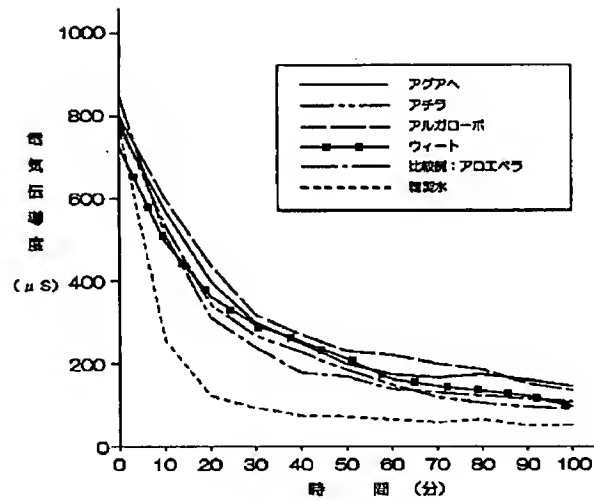
## 【図面の簡単な説明】

【図1】 アグアヘ、アチラ、アルガローボ、ウィートの植物抽出液適用部位の皮膚電気伝導度の経時変化(実施例:植物抽出物の保湿性1)

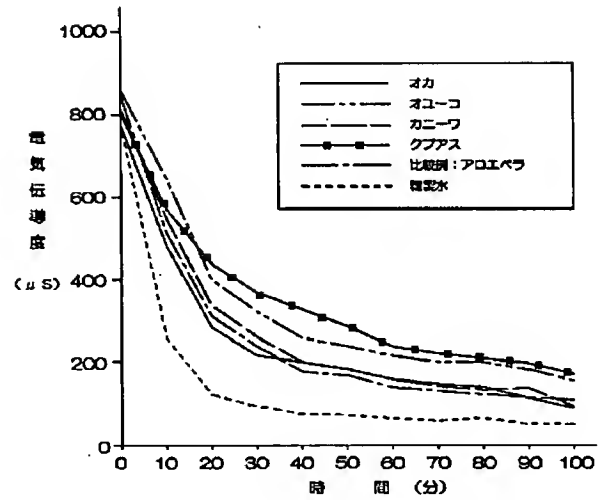
40 【図2】 オカ、オユーコ、カニワ、クブアスの植物抽出液適用部位の皮膚電気伝導度の経時変化(実施例:植物抽出物の保湿性1)

【図3】 タルウィ、マカ、マシユア、モジェ、ヤーコンの植物抽出液適用部位の皮膚電気伝導度の経時変化(実施例:植物抽出物の保湿性1)

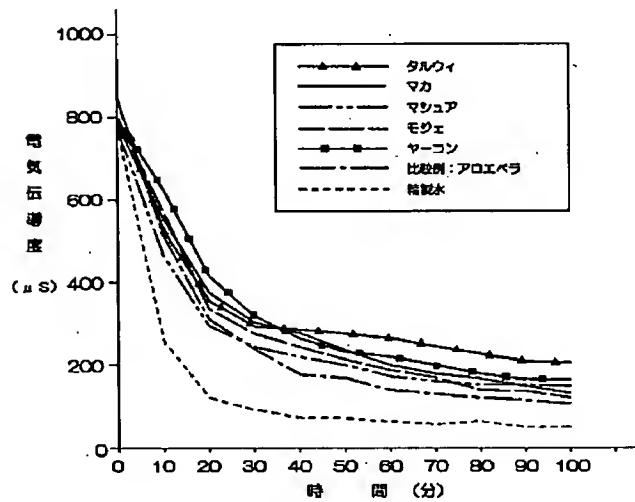
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.

識別記号

F I

テーマコード(参考)

A 6 1 K 7/48

A 6 1 K 7/48

7/50

7/50

C 1 1 D 3/382

C 1 1 D 3/382

3/48

3/48

F ターム(参考) 4C083 AA082 AA111 AA112 AA122  
AB152 AB312 AB352 AC012  
AC022 AC072 AC102 AC122  
AC132 AC182 AC242 AC422  
AC432 AC442 AC532 AC562  
AC642 AC692 AC782 AC812  
AC862 AD042 AD512 CC01  
CC05 CC23 CC25 CC37 CC38  
CC39 CC41 DD16 DD31 EE06  
EE12 EE29  
4H003 AB03 AB27 AB31 AB44 AC05  
AC13 BA12 DA02 DA17 EB04  
EB16 EB43 ED02 ED28 FA02  
FA21 FA33